

Mist Live Demo

利用ガイド

ジュニパーネットワークス株式会社
2024年2月 Ver 3.2

JUNIPER 
driven by Mist AI

本資料の位置づけ

Mistは、アクセスポイントやクライアントから取得したメタデータを分析し**非常に高度なレベルでネットワーク環境を可視化**します

Mist Cloudアカウントは、誰でも無料で作成でき管理画面のUIを確認することは容易にできますが**数週間から1ヶ月程度のデータの蓄積と、アクセスポイントや接続するクライアントがある程度台数がないと実態に即したデータ表示/可視化状況を見ることは困難**です

今回ご紹介する **Live Demo** は、Mistの**デモ環境をObserver(閲覧)権限で公開**しています
配下に接続された各種デバイスのデータが集積、可視化された状態で管理画面が確認可能ですので**Mistの真価を手軽にご体感いただける非常に有用なツール**です

本資料では**Live Demoの登録方法と、管理画面の簡単な説明**を行います
Mistの素晴らしい機能のご理解にお役立てください



AGENDA

Live Demo について

- アカウントの申請とログイン方法の紹介

機能紹介

- プレゼンテーションに役立つ機能の紹介

多言語化対応

- Mist GUI 日本語化



AGENDA

Live Demo について

- アカウントの申請とログイン方法の紹介

機能紹介

- プレゼンテーションに役立つ機能の紹介

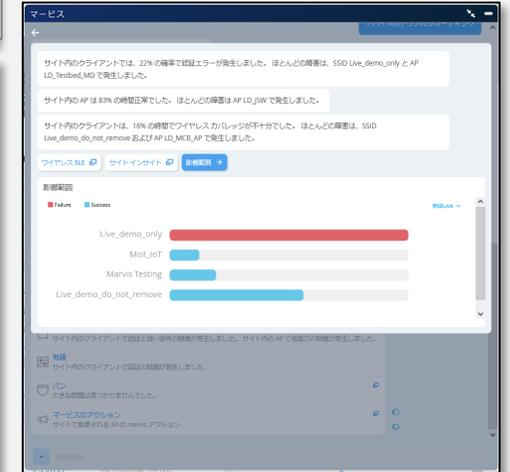
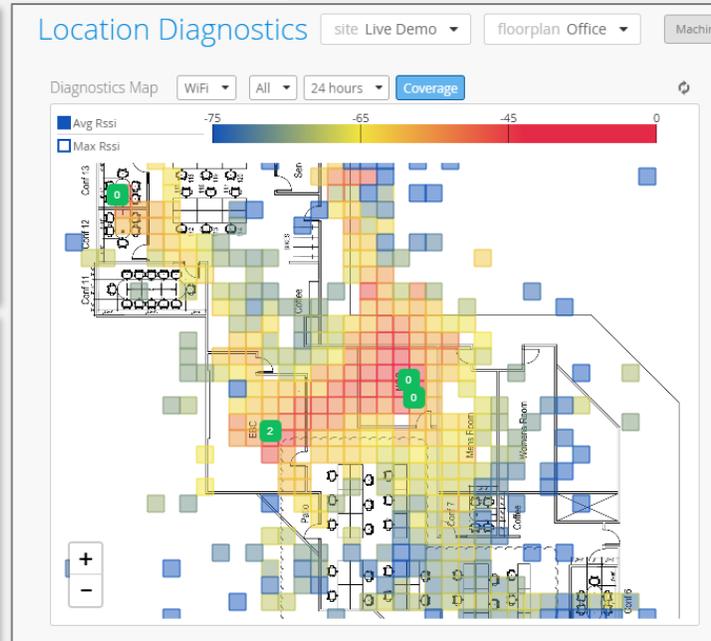
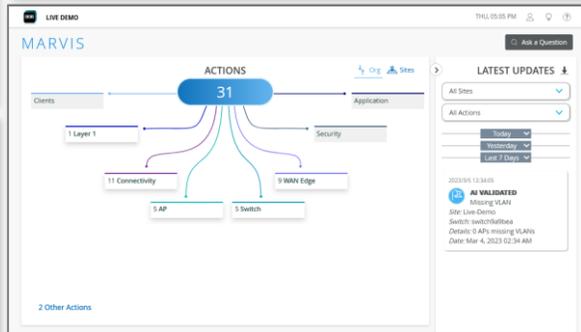
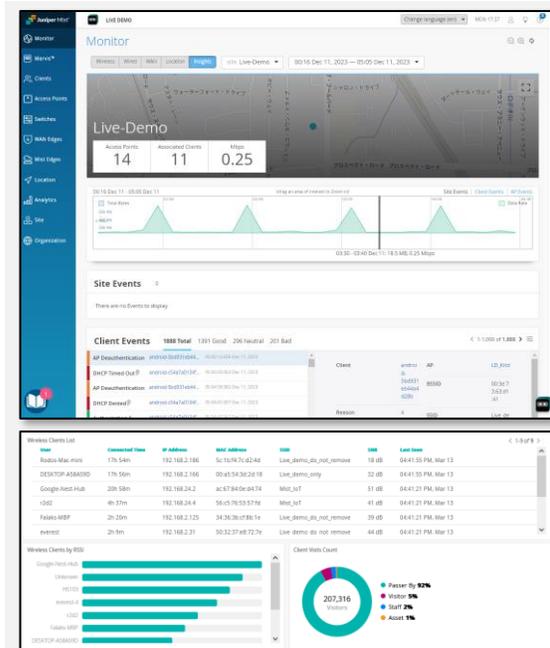
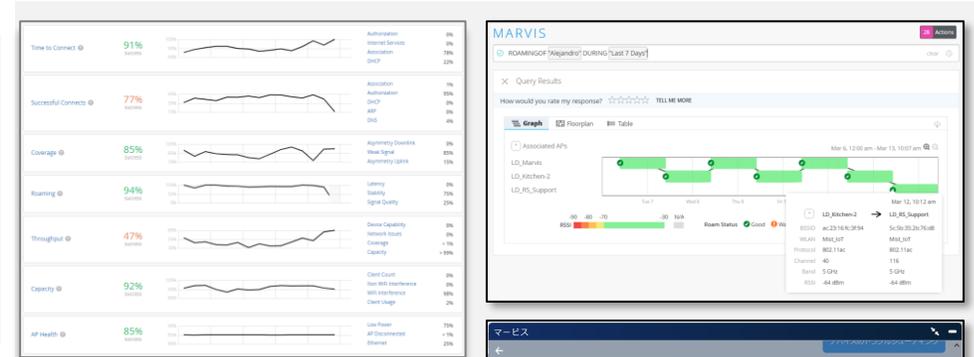
多言語化対応

- Mist GUI 日本語化

Live Demo について

Live Demo 概要

「Live Demo」は米国の Mist 社内にある Wi-Fi デプロイメントをデモ用に閲覧権限で公開している環境です
お客様に直接 Mist が提供する先進的 AI プラットフォームのポテンシャルを見ていただくのに最適です



Live Demo について

アカウント申請についての注意事項



- 本手順は、既存の Mist アカウントへ Live Demo のアクセス権を付与(追加)するものではありません
- Live Demo 専用としてメールアドレスの用意を推奨します
- 今後 Mist アカウントの作成が予定されているメールアドレスでの登録はお控えください
- 既存アカウントへの Live Demo のアクセス権付与につきましては、担当アカウントマネージャーにご相談ください

Live Demo について

アカウント申請

Juniper Mist ウェブサイトの
「[Mist AI Test Drive](#)」で
必要事項を入力、Self-Guided Tour に申請します

申請時に入力したメールアドレス宛にメールが届きます
Juniper のサイトでパスワードを設定することで、SSO
で Live Demo にアクセスできるようになります



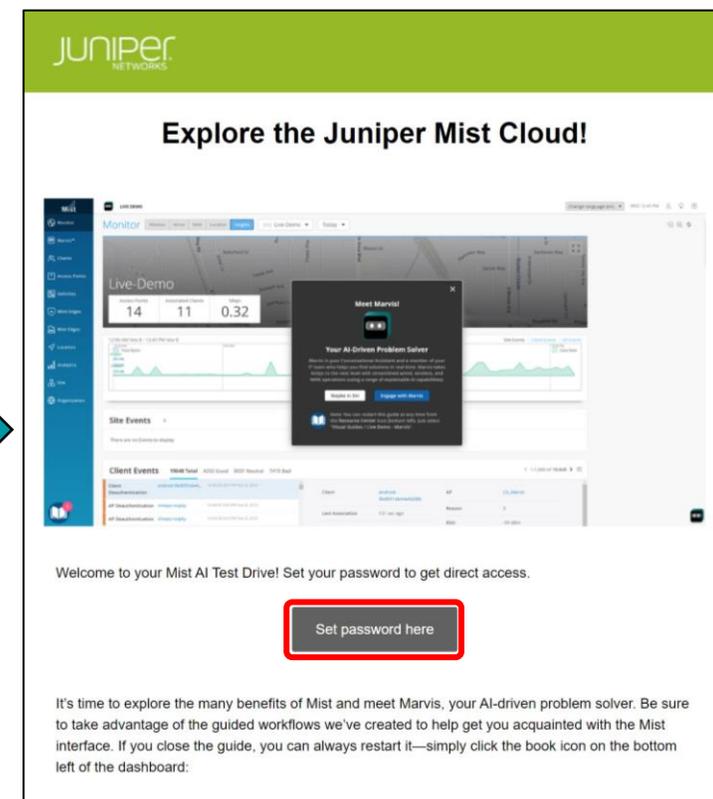
Mist AI test Drive :

<https://www.juniper.net/us/en/forms/mist-ai-test-drive.html>

申し込みページ

Start Your Tour!
First Name*
Last Name*
Job Title*
Email Address*
Phone Number*
Company/Organization Name*
Country*
I would like for a Juniper representative to contact me.
By clicking Submit, I agree to the use of my personal information in accordance with Juniper's privacy policy. I understand and acknowledge that my information may be used for electronic marketing activities and other purposes, and may be transferred for processing outside my country of residence, where standards of data protection may be different.
Get Access!

受信メール



件名 : 「Your Self Guided Tour」

[Set password here] でパスワードを設定します

※メール受信までに時間がかかる場合があります

Live Demo について

ログイン手順

a 受信メールのリンク [Bookmark page] をクリック

The link above to set up your password can only be used once, so be sure to **bookmark this page** for future access to your Mist AI Test Drive.

Bookmark page

いずれかの手順でログインします

a. メールに記載のリンクから、Mist Cloud にアクセスします

b. 直接 Mist Cloud にアクセスします

URL : <https://manage.mist.com>

b 直接アクセス URL : <https://manage.mist.com>

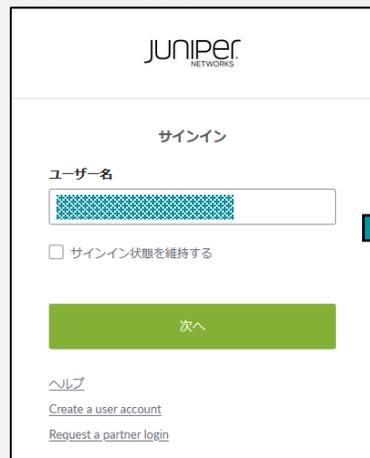
Email 入力



Global 01 をクリック



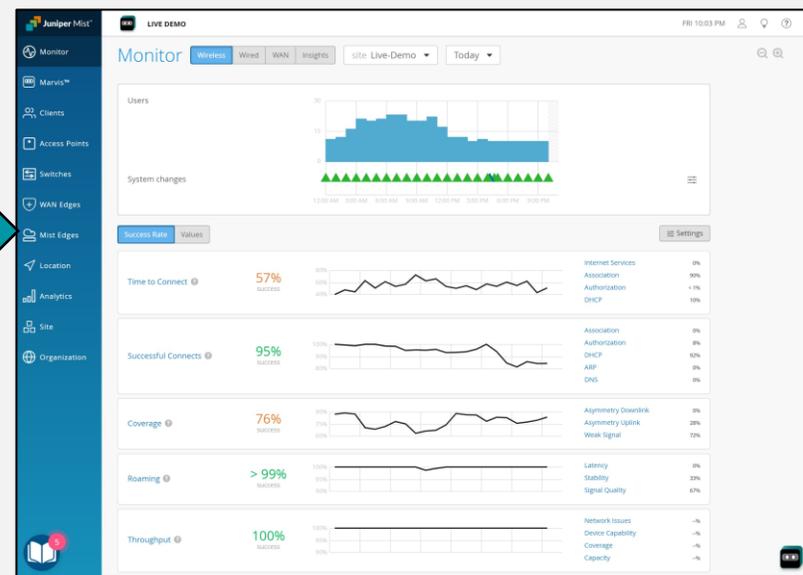
次へをクリック



パスワードを入力



Mist Cloud管理画面



Juniper サイトから SSO でログインします(a.b.共通)



機能紹介

AGENDA

Live Demo について

- アカウントの申請とログイン方法の紹介

機能紹介

- メインメニュー概要
- Monitor
- Marvis
- Switches
- WAN Edge
- Location
- Analytics
- Site

多言語化対応

- Mist GUI 日本語化

機能紹介

メインメニュー概要

The image shows a screenshot of the Juniper Mist main menu with callouts explaining each item. The menu items and their descriptions are as follows:

- Monitor**: サービスレベルの状態やアラートを確認
- Marvis™**: 人工知能“Marvis”が運用やトラブルシュートをサポート
- Clients**: Wi-Fi、有線、BLE等の接続クライアントを表示
- Access Points**: アクセスポイントのステータスを確認
- Switches**: スイッチのステータスを確認
- WAN Edges**: WAN Edge（ルータ）のステータスを確認
- Mist Edges**: Mist Edge（トンネル終端装置）の設定・ステータス確認
- Location**: フロアマップ上でのデバイス位置の確認、電波のカバレッジを可視化
- Analytics**: 無線エリアの占有状況やデバイス同士の接触状況、ネットワークの利用状況などを分析
- Site**: 拠点単位の設定
- Organization**: Organization 全体に関わる設定

以降ページでは、特におすすめしたいページをピックアップしてご紹介します

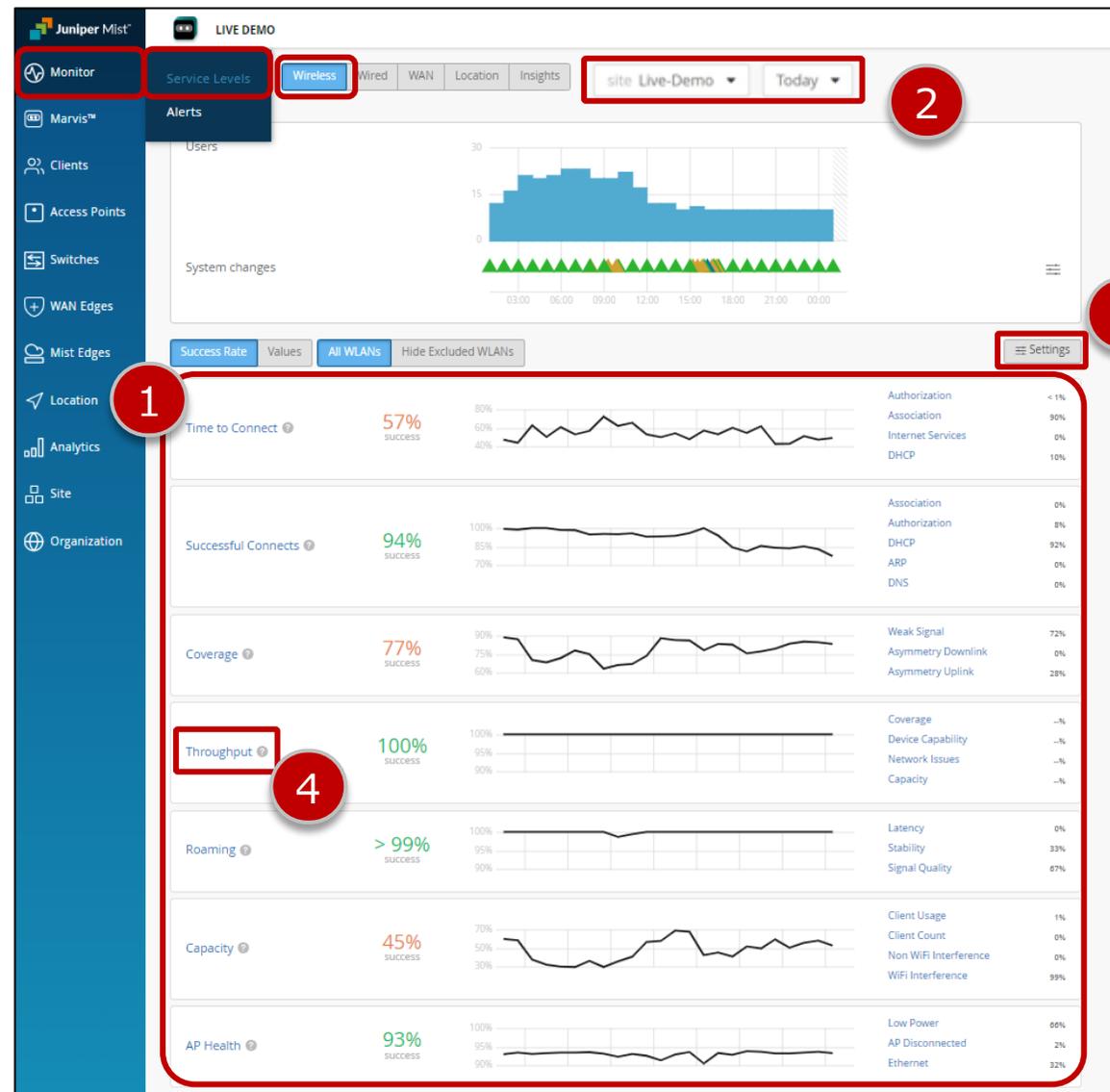
機能紹介



SLE (Service Level Expectation)

[Monitor > Service Level > Wireless]

- ① Mist の特徴的な機能に SLE があります
SLE は無線接続クライアントから取得したメタデータを分析し、現在の Wi-Fi 環境を可視化します
指標は7つあり、それぞれの指標で示されるパーセンテージを見ることで、利用者が無線環境に不満を抱えているか、または快適に利用できているかを瞬時に理解することができる優れたダッシュボードです
- ② 対象の期間や拠点を絞った表示も可能です
- ③ 快適か否かのしきい値は管理者側で設定可能です
- ④ いずれかの指標をクリックすると問題の根本分析画面に移動します (次スライドで解説)



機能紹介



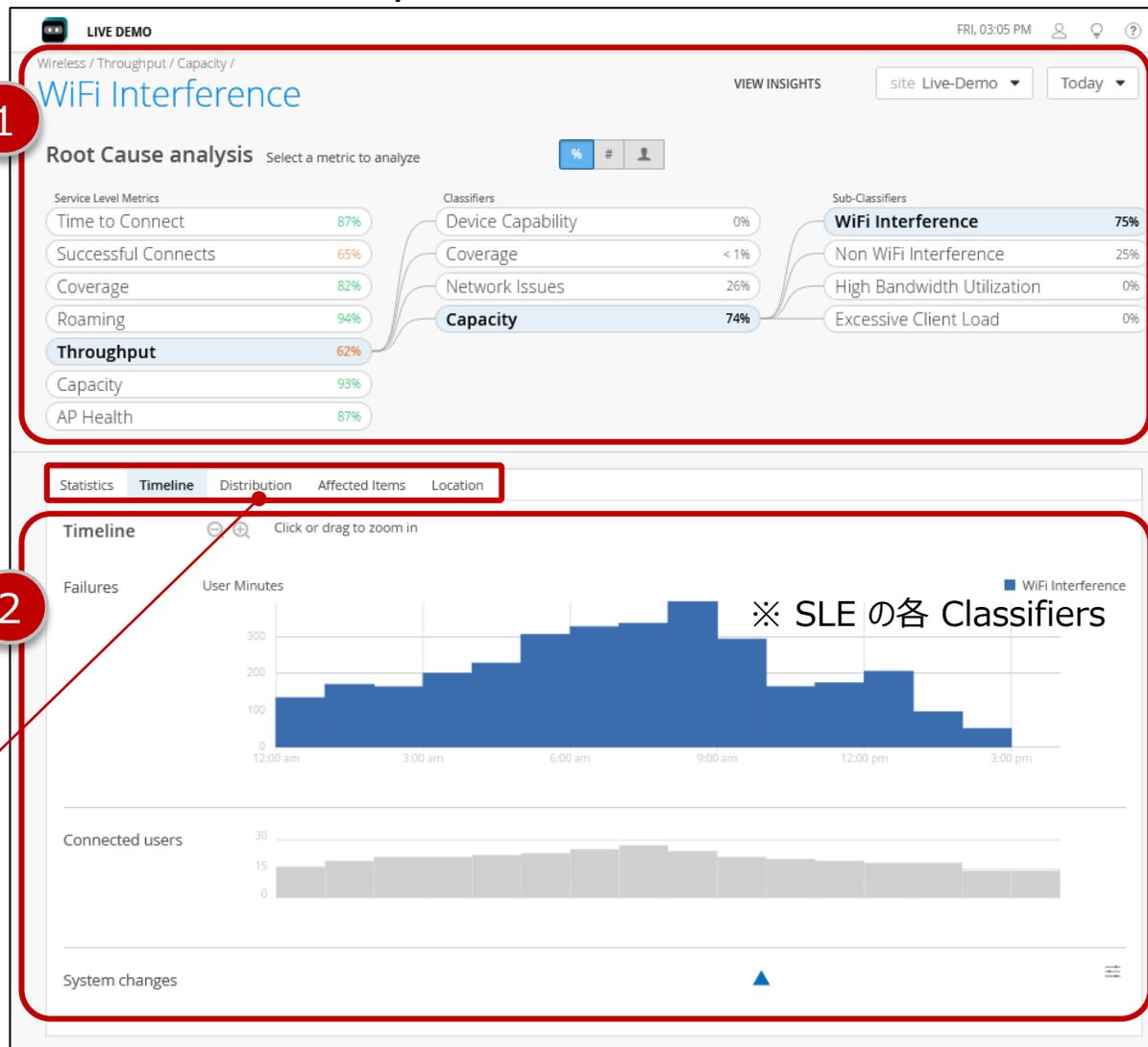
Root Cause Analysis (根本原因分析)

① Root Cause Analysis では、各指標で目標とする SLE を達成できなかった原因を詳しく調べ、複雑な無線関連の問題の原因を自動的に特定することができます

右画面であれば”スループットが低いのは Wi-Fi による電波干渉が原因である可能性が高い”ことが読み取れます

② さらに、下部のタブをクリックすることで、問題発生 の時間分布、デバイス種類や接続している AP などに基づいた偏りの分析結果なども確認可能です

Root Cause Analysis画面



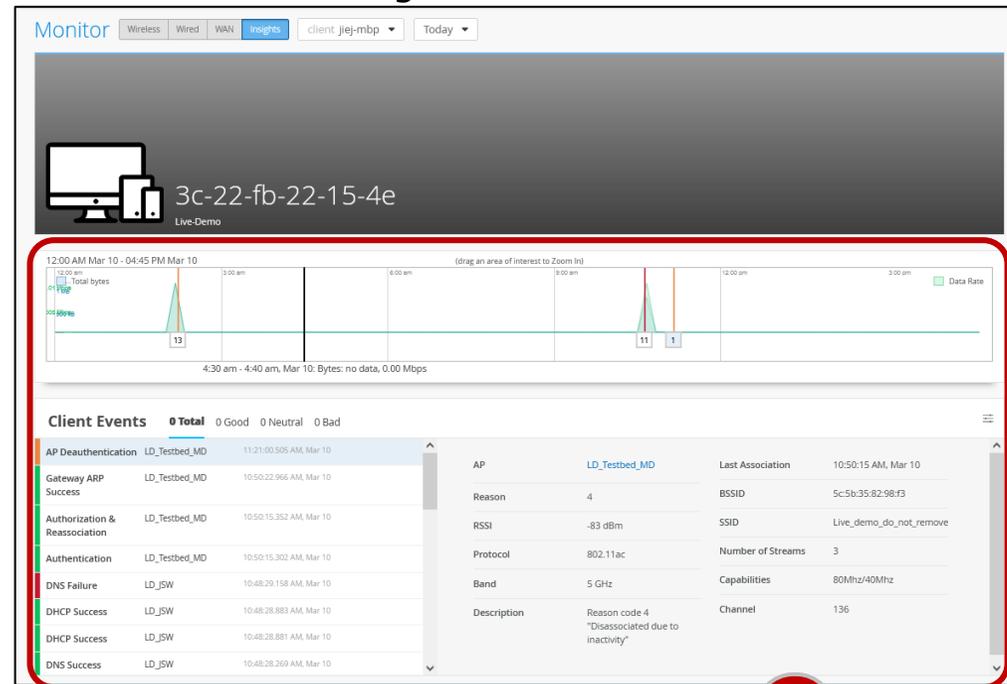
機能紹介



特定クライアントのイベントログから更に調査

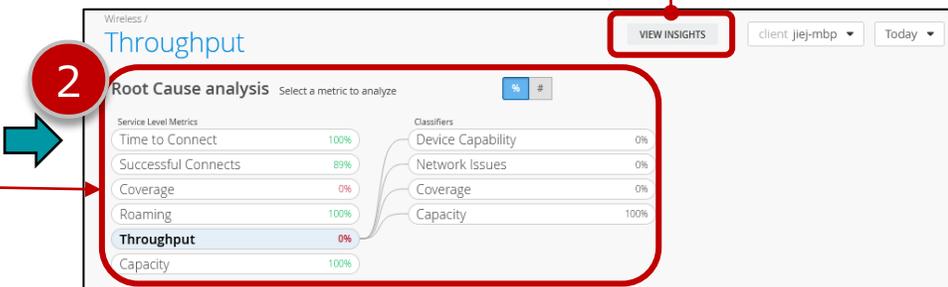
- ① 前スライドのタブより「Affected Items」を開くと、影響を受けた端末（電波干渉を強く受けた PC）の一覧が表示されます
- ② 任意のユーザ名をクリックすると「そのユーザの SLE」が確認可能です
- ③ さらに「VIEW INSIGHTS」より、対象となるクライアントの Insights 画面を表示することができ、個々のイベントログを確認しながら、詳細な原因追跡が行えます

※特定クライアントの Insights 画面



Users	Count
Access points	9
Applications	36

Name	Overall Impact	Failure Rate	MAC Address	Device	OS	Last AP	WLAN
jiej-mbp	0.06%	100%	3c:22:fb:22:15:4e	Mac	Catalina	LD_Testbed_MD	Live_d
anselmallenj-mbp	14.27%	96%	bc:d0:74:5b:53:2f	Mac	Catalina	LD_Kitchen-2	Live_d
r2d2	24.23%	88%	56:c5:76:53:57:fd	unknown	unknown	LD_Kitchen-2	Mist_Ic
3e:44:82:1a:37:db	0.15%	62%	3e:44:82:1a:37:db	iOS	iOS	LD_Kitchen	Live_d



※「Affected Items」にて、影響されているクライアントを任意に選択して問題詳細を調査します

ユーザ単体のSLE & 根本原因分析

機能紹介



ダイナミックパケットキャプチャー (Dynamic Packet Capture)

- ① 特定クライアントの Insights 画面より Client Events を確認します
- ② Mist は「Bad」レベルのイベントで自動的にパケットキャプチャーを実行します
- ③ 任意の Bad イベントを選択し「Download Packet Capture」を選択、Wireshark等でキャプチャーデータの確認が可能です

1

Client Events 5788 Total 0 Good 5132 Neutral **656 Bad**

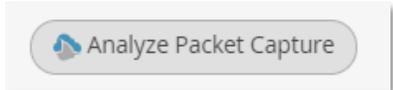
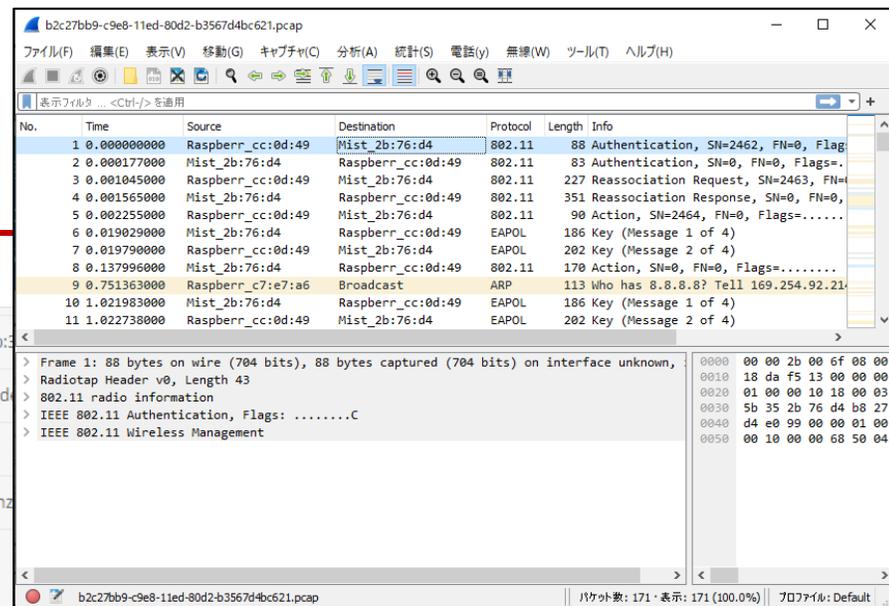
Event Type	Client	Time
Authorization Failure	LD_RS_Support	11:08:48.035 AM, Mar 24
Authorization Failure	LD_RS_Support	11:08:40.703 AM, Mar 24
Authorization Failure	LD_RS_Support	11:08:28.171 AM, Mar 24
Authorization Failure	LD_RS_Support	11:08:20.800 AM, Mar 24
Authorization Failure	LD_RS_Support	11:08:13.425 AM, Mar 24
Authorization Failure	LD_RS_Support	11:08:06.065 AM, Mar 24

2

Reason	RSSI	Protocol	Band	Description
2	-53 dBm	802.11ac	5 GHz	Reason code 2 "Previous authentication no longer valid" WPA 4way handshake timeout(15).

3

Download Packet Capture



※キャプチャーの実施は AI が自動で判断するため、イベント内容によっては pcap ファイルが生成されない場合があります

「CloudShark」(有償)の設定をすれば、「Analyze Packet Capture」が表示され、pcap ファイルを「CloudShark」で確認できます

機能紹介



コマンド (Query Language) による情報取得 [Marvis > Ask a Question]

MarvisはMistに搭載されているAIです

Marvisに問合せすることで、Mist Cloudの各種メニュー画面の中から適切なデータを抽出し受け取ることができます

- ① Marvisから「Ask a Question」をクリックし、コマンドによる問い合わせ画面に移動します
- ② 入力バーをクリックすると最上位のコマンド候補が表示されるのでクリックで選択、スペースを入力し次の候補を選択します
コマンドは階層構造になっており、次に入力する候補も表示されますので比較的容易に習得できると思います
- ③ コマンドの入力が終わったらEnterで結果を表示できます

(下記例：クライアント Alejandro の 直近7日間 (Last 7 Days) の ローミング状況 (ROAMINGOF) を表示して という意味

1

2

3

コマンド選択 [スペース] 対象選択 [スペース] 条件選択...

機能紹介



コマンド (Query Language) による情報取得 [Marvis > Ask a Question] : クエリ例

ATTRIBUTE [知りたい属性] **OF** [対象デバイス]

▶ 対象デバイスの属性情報を表示

例) **ATTRIBUTE** Clients **OF** "LD_Kitchen"

Clients of LD_Kitchen

- gsawyer-mbp
wireless client / IP 10.100.0.63
- Rodos-Mac-mini
wireless client / IP 10.100.0.61

AP:LD_Kitchenに接続している端末を表示

COUNT [集計対象] (WITH...DURING...)

▶ 集計対象の数を表示

例) **COUNT** Clients WITH Site "Live-Demo" DURING "Today"

82 clients

今日、サイト:Live-Demoに接続している端末数を表示

LIST [集計対象] (WITH...DURING...)

▶ 集計対象をリスト表示

例) **LIST** SwitchEvents WITH Site "Live-Demo" AND SwitchEventType Port-Down

Time	Type	Switch	Event Detail
10:33:36 AM, Jun 29	Port Down	ld-cup-idf-c-sw11	org id: 9777c1a0-6ef6-11e6-8bbf-02e208b2d34f...
10:23:45 AM, Jun 29	Port Down	ld-cup-idf-e-sw22	org id: 9777c1a0-6ef6-11e6-8bbf-02e208b2d34f...

サイト:Live-Demo配下のスイッチで発生したポートダウンのイベントをリスト表示

LOCATE [検索対象]

▶ 検索対象の位置を確認 MAP/Site/FloorPlan

例) **LOCATE** "LD_Kitchen"

site: Live-Demo floorplan 01 - Office

AP Info

- Name: LD_Kitchen
- MAC: 5c:5b:35:50:06:1d
- Clients: 1 5GHz, 2 5GHz
- Channel: 140 5GHz, 56 5GHz

AP:LD_Kitchenが設置されたSite、フロアマップ、設置位置を表示

RANK [順位付け対象] **BY** [ソート対象] (WITH...DURING...)

▶ 順位付け対象をソート対象順に並び替えて表示

例) **RANK** Sites **BY** ClientCount WITH WLAN Guest DURING "Last 7 Days"

Sites

Live-Demo

ClientCount

直近7日間でゲストWi-Fiに接続したユーザが多い順にサイトを並び替えて表示

機能紹介

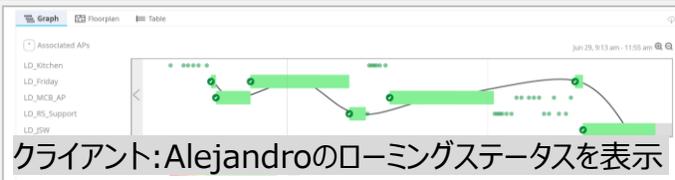


コマンド (Query Language) による情報取得 [Marvis > Ask a Question] : クエリ例つき

ROAMINGOF [クライアント] (DURING...)

▶ クライアントのローミング状況を確認

例) **ROAMINGOF** "Alejandro"



SEARCH [検索対象]

▶ 検索対象を検索 (デバイス/Cloud上のページ/ドキュメントなど)

例) **SEARCH** NAC



STATUSOF Clients (WITH...DURING...)

▶ 問題の相関分析を実施

例) **STATUSOF** Clients WITH Site "Live-Demo" AND Problem Coverage



TROUBLESHOOT [トラブルシューティング対象] (WITH...DURING...)

▶ トラブルシューティング対象の問題の表示と原因分析を実施

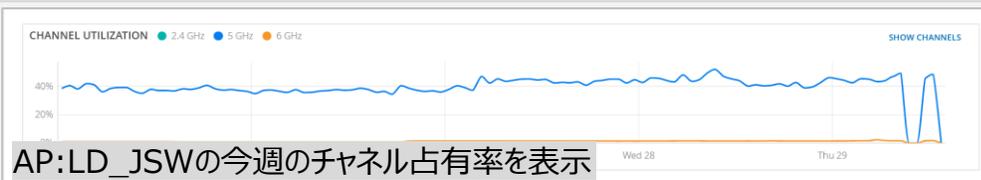
例) **TROUBLESHOOT** "aconcagua" DURING "Yesterday"



UTILIZATIONOF [対象AP] (DURING...)

▶ 対象APのチャンネル占有率を表示

例) **UTILIZATIONOF** "LD_JSW" DURING "This Week"



機能紹介

Marvis™

Marvis Action

Marvis Action では、AI 側からユーザに対して問題点や確認すべき点を提示します

- ① 例えば Connectivity から DHCP Failure を選択すると DHCP サーバのダウンを検知していることがわかります



Marvis をクリックすると Marvis Actions が表示されます
Query Language を使用していた場合、右上の Actions で切り替えます

ACTIONS

33

11 Connectivity

4 DHCP Failure

1

DHCP FAILURE

RECOMMENDED ACTION
The following DHCP server(s) are not responding. Please check if they are online and able to lease IP addresses.

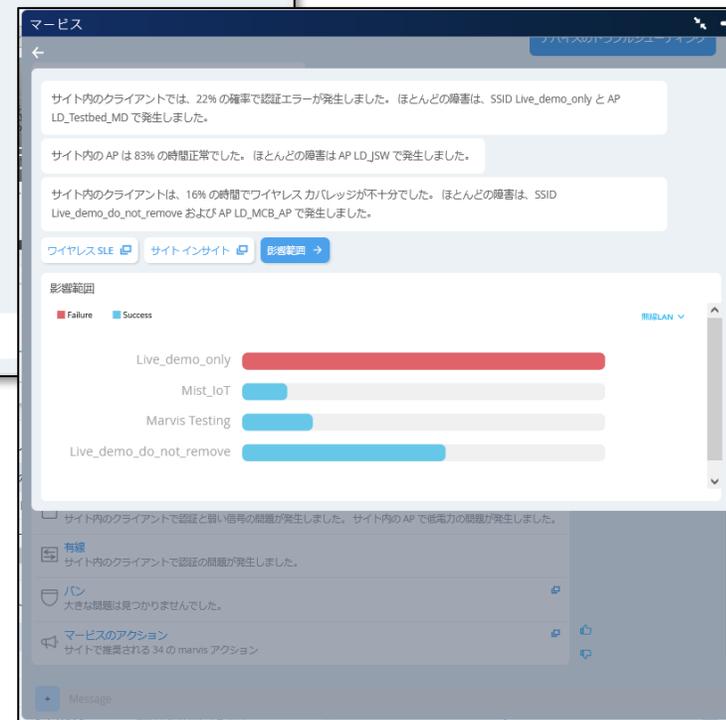
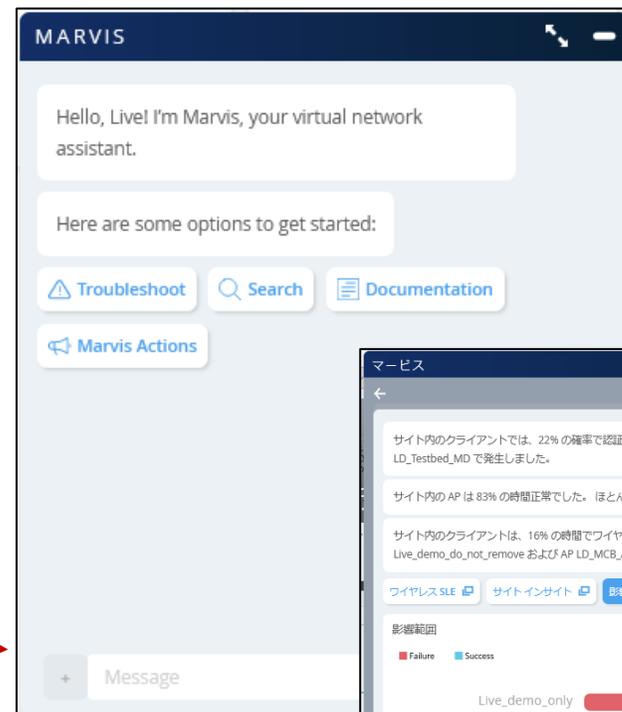
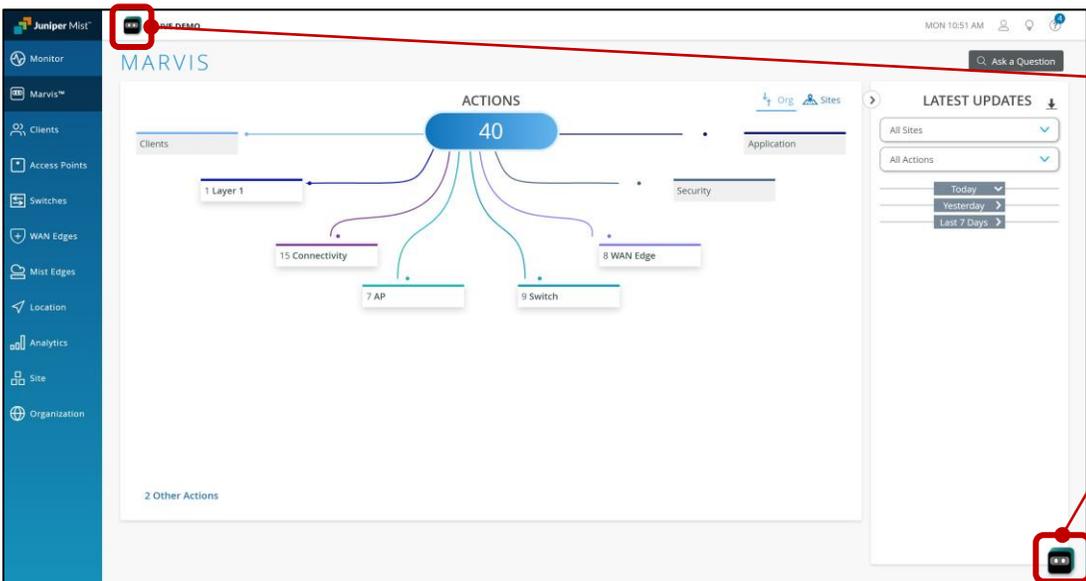
Site	Reason	Details	Date	Status
Live-Demo	2 APs on WLAN Mist_IoT	Affects 8 Clients	Mar 10, 2023 08:22 AM	Open
Live-Demo	DHCP Server 192.168.2.1	Affects 8 Clients	Mar 10, 2023 07:53 AM	Open
Live-Demo	VLAN 120	Affects 87 Clients	Mar 8, 2023 08:26 PM	Open
Live-Demo	All WLANs failing	Affects 5 Clients	Mar 8, 2023 08:25 AM	Open

機能紹介



対話型アシスタント

対話型アシスタントは、高度な自然言語処理技術を使って、ユーザーの目的や意図を理解します
トラブルシューティングに関する問題や、デバイスやドキュメントの検索に関する問い合わせに応じて、適切な回答を返します
ダッシュボードの画面遷移や CLI コマンドを覚える必要はありません



※Google Translation を利用

機能紹介

Switches

Wired Assurance - Switch の状態確認

Mist Cloud 上で AP と接続しているスイッチの管理も可能です

- ① メニューから Switches を選択し、上部の List をクリックするとサイト内に設置されたスイッチの一覧を表示可能です
- ② リストに表示されたスイッチを選択することで、詳細なステータスが確認できます

Status	Name	IP Address	Model	Mist APs	Wireless Clients	Wired Clients	Insights
Connected	ld-cup-idf-d-desktop	192.168.2.54	EX2300-C-12P	1	0	4	Switch Insights
Connected	ld-cup-idf-d	192.168.2.60	EX4100-48MP	0	0	--	Switch Insights
Connected	ld-cup-idf-bb	10.100.0.96	EX4100-48MP	3	5	10	Switch Insights
Connected	ld-cup-idf-a-core	10.100.1.14	EX4100-48MP	1	2	7	Switch Insights
Connected	ld-cup-idf-d-desktop-22	10.100.0.47	EX4100-48MP	3	0	4	Switch Insights
Connected	ld-cup-idf-d-sw440000	192.168.2.59	EX4400-48T	0	0	1	Switch Insights
Connected	EVPN-EX4400_Core_11-1	172.16.254.2	EX4400-48P	0	0	6	Switch Insights
Connected	ld-cup-idf-d-VC	10.100.0.38	EX2300-48P	0, 2	2	13	Switch Insights
Disconnected	ld-cup-idf-c2	172.16.84.63	EX3400-48P	0	0	--	Switch Insights
Disconnected	EVPN-EX4400-Access-1	--	EX4400-24P	0	0	--	Switch Insights
Disconnected	EVPN-EX4400_Core_2	--	EX4400-24MP	0	0	--	Switch Insights
Disconnected	EVPN-EX4400-Access2	--	EX4400-24MP	0	0	--	Switch Insights
Unknown	daluu9485ad	3c-8c-93-94-85-ad	EX2300-C-12P	1	0	--	Switch Insights

※スイッチのステータス確認画面

Switch Insights

LOCATION: not on floorplan

MAC ADDRESS: 60:c7:8a:93:af:0f

IP ADDRESS: 10.100.1.14 (vlan 1)

MIST APs: 1

Switch Events: 0 Total, 0 Good, 0 Neutral, 0 Bad

Table Capacity: <1% MAC Address Table, <1% ARP Table, <1% Route Summary

Switch Charts: CPU Utilization, Memory Utilization

※Wi-Fi 同様、スイッチのインサイトも表示可能

機能紹介

Switches

Wired Assurance - Switch の状態確認 続き

- ① 上部メニューより、Topology を選択すると自動でトポロジマップが生成されます
- ② Location を選択するとスイッチの設置場所および配下に接続された AP を色分けで表示します

The screenshot shows the Juniper Switches management interface. At the top, there is a navigation bar with the following elements: a blue box with the number '8', the text 'Switches', a dropdown menu set to 'site Live Demo', and three buttons: 'List', 'Topology', and 'Location'. The 'Topology' and 'Location' buttons are highlighted with red boxes. Below the navigation bar, there are two main panels. The left panel, labeled with a red circle '1', shows a network topology diagram. It features a central node 'LD_SRX' (IP: 10.220.220.236) connected to several other nodes, including 'LD_CUP_BACK_UP_SRX', 'LD_CUP_IDF_A_SW2' (IP: 192.168.9.140), and 'LD_Kitchen' (MAC: d4:20:b0:f1:03:c5). The right panel, labeled with a red circle '2', shows a floorplan map of an office. The map is populated with colored icons representing switches and APs. A legend on the right side of the floorplan lists the devices: 'IX7450-48P Switch' (10.2.2.15), 'ld-cup-idf-a-sw2' (192.168.9.140), 'ld-cup-idf-b-sw1' (10.2.2.131), 'ld-cup-idf-c-sw1' (10.2.2.139), and 'ld-cup-idf-d-sw1_1' (192.168.2.54). The floorplan also includes a 'WIFI Coverage' section with options for 'Off', '2.4 GHz', and '5 GHz'.

※LLDP でノード情報を取得し、自動でマッピングします

※Location では AP やスイッチを図面上にマッピングして表示します

機能紹介



WAN Assurance - ゲートウェイ装置の確認

Mist Cloud 上でゲートウェイの運用管理が可能です
ゲートウェイの状態（CPU、メモリ、トラフィック、リンクの状態など）や、アプリケーション利用状況を確認できます

※自動で生成されたトポロジマップを表示します



Name	Status	IP Address	Model	Version	Topology	Managed	Insights
LD_CUP_SRX_1	Connected	192.168.0.102	SRX340	22.1R1-S1.3	--	☑	WAN Edge Insights

PROPERTY	VALUE
INSIGHTS	WAN Edge Insights
LOCATION	01 - Office
MAC ADDRESS	fc:33:42:64:5a:80
MODEL	SRX340
VERSION	22.1R1-S1.3
TEMPLATE	LD_WAN_DOTDELETE
HUB PROFILE	None

STATISTICS	STATUS
STATUS	Connected
IP ADDRESS	192.168.0.102
UPTIME	3d 16h 51m
LAST SEEN	Dec 11, 2023 15:27
LAST CONFIG	Config Failed - Dec 11, 2023 03:17

POOL NAME	LEASED IPs	TOTAL IPs
GuestLAN	0	497
defaut-vlan	37	347
LD_VLAN24	0	245
LD_VLAN2	13	245
IoTLAN	1	91

App Name	Number of clients	Total Bytes	Percent Bytes	RX bytes	TX Bytes
CNN	1	7.2 GB	63.3%	7.2 GB	48.1 MB
SSL	78	3.5 GB	30.5%	2.4 GB	1.1 GB
AMAZON	4	251 MB	2.2%	18.9 MB	232.1 MB
GOOGLE-STATIC	57	134.6 MB	1.2%	129.8 MB	4.8 MB
GOOGLE-API	98	112.2 MB	1.0%	73 MB	39.2 MB
DNS	102	56.2 MB	0.5%	35.8 MB	20.4 MB
DNS-ENCRYPTED	141	35.4 MB	0.3%	24.6 MB	10.8 MB

※SRXによるシグネチャベースのAPP識別結果も表示

機能紹介



WAN Assurance – WAN Edgeの設定

WAN Edge に SRX や SSR を利用されている場合は、Mist Cloud の GUI から設定を投入することが可能です。ネットワークの基本的な項目は GUI をクリックしていくことで設定でき、細かなチューニングも CLI で投入可能です。



※Enable Configuration Management をクリックして、Mist Cloud 上で WAN Edgeの管理を有効化

WAN Edge Configuration: Standalone

Configuration is Managed by Mist

INFO

Name: LD_CUP_SRX_1

IP CONFIGURATION (OUT OF BAND)

Override Template Settings

NTP

DNS SETTINGS

SECURE EDGE CONNECTORS

0 Providers

There are no Providers defined yet

WAN

NAME	INTERFACE	WAN TYPE	IP CONFIGURATION
ATT	ge-0/0/0	Ethernet	DHCP
cradlepoint	ge-0/0/1	Ethernet	DHCP

LAN

NETWORK	INTERFACE	UNTAGGED	VLAN ID	IP CONFIGURATION	DHCP
default-vlan	ge-0/0/3	Yes	<default>	10.100.0.1/23	Server
GuestLAN	ge-0/0/3	No	30	10.100.30.1/23	Server
IoTLAN	ge-0/0/3	No	20	10.100.20.1/24	Server
LD_VLAN2	ge-0/0/3	No	2	192.168.2.1/24	Server
LD_VLAN24	ge-0/0/3	No	24	192.168.24.1/24	Server
seattle-lan2	ge-0/0/13-14	No	<default>	20.2.2.2/24	-

TRAFFIC STEERING

NAME	STRATEGY	PATH
to-default	Ordered	default-vlan
To-Internet	Ordered	ATT

APPLICATION POLICIES

NO.	NAME	DNS IMPORTED	NETWORK / USER (MATCHING ANY)	ACTION	APPLICATION / DESTINATION (MATCHING ANY)	OP	TRAFFIC STEERING
1	url-filtering	Match All	Match All	Deny	Match All	None	To-Internet
2	LAN-to-Internet	Match All	Match All	Allow	Match All	Alert	To-Internet

ROUTING

BGP

0 BGP Groups

There are no BGP group configurations defined yet

STATIC ROUTES

0 Static Routes

There are no Static Routes defined yet

CLI CONFIGURATION

CLI CONFIGURATION

Site/Template CLI Commands

```
clear chassis auto-image upgrade
set system interfaces mgmt-ethernet description management
set system management-instance
set security zones security-zone int1 trust inbound-traffic protocols router-discovery
```

Additional CLI Commands for SRX

```
set system services ssh-root-login allow
```

機能紹介

WAN Edges

WAN Edge の Utilities

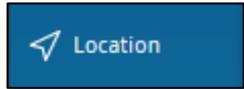
WAN Edge の Utilities では、Mist Cloud から WAN Edge に対する操作が可能です
Utilities の「Testing Tools」では Ping、traceroute、ポート再起動、CLI コマンドが実行できます

The screenshot shows the Juniper Mist interface for managing WAN Edges. On the left, the navigation menu includes Monitor, Marvis™, Clients, Access Points, Switches, WAN Edges (highlighted), Mist Edges, Location, and Analytics. The main area displays a list of WAN Edges, with 'LD_CUP_SRX_1' selected. A detailed view for 'Gateways: LD_SRX' is shown, including status indicators, security services (EWF, IDP, AppS), and properties like Gateway Insights, Location, IP Address, and Uptime. A 'Testing Tools' menu is overlaid on the gateway view, containing options for 'Send Gateway Log to Mist' and 'Reboot Gateway'. In the background, a 'Gateway Testing Tools' window is open, displaying a CLI shell with the command 'show interfaces terse' and its output.

Interface	Admin	Link	Proto	Local	Remote
ge-0/0/0	up	up	inet	172.16.0.100/24	
ge-0/0/0	up	up			
ge-0/0/0	up	up			
ge-0/0/0	up	up			
ge-0/0/0	up	up			
ge-0/0/0	up	up	inet		
ge-0/0/0	up	up	inet6		
ge-0/0/0.16383	up	up	inet	10.0.0.1	--> 10.0.0.16
				10.0.0.6	--> 0/0
				128.0.0.1	--> 128.0.1.16
				128.0.0.6	--> 0/0
ge-0/1	up	up			
ge-0/1.0	up	up	inet		
ge-0/2	up	down			
ge-0/2.0	up	down	eth-switch		
ge-0/3	up	down			
ge-0/3.0	up	down	eth-switch		
ge-0/4	up	down			
ge-0/4.0	up	down	eth-switch		
ge-0/5	up	down			
ge-0/5.0	up	down	eth-switch		

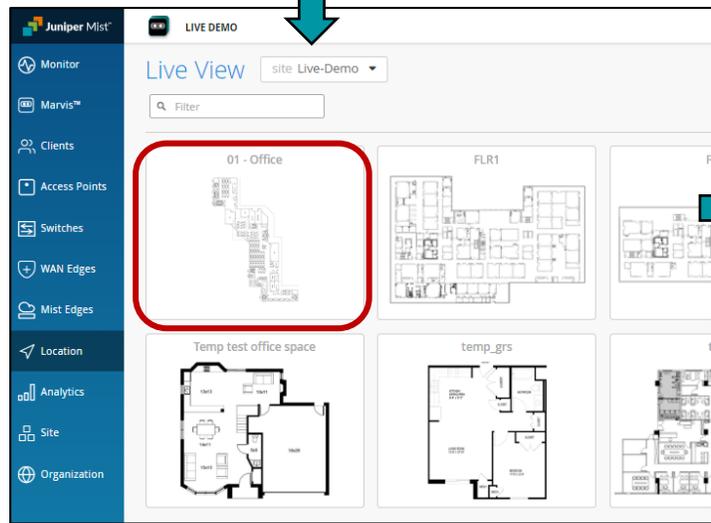
※Live Demoでは権限によりUtilitiesが表示されません

機能紹介

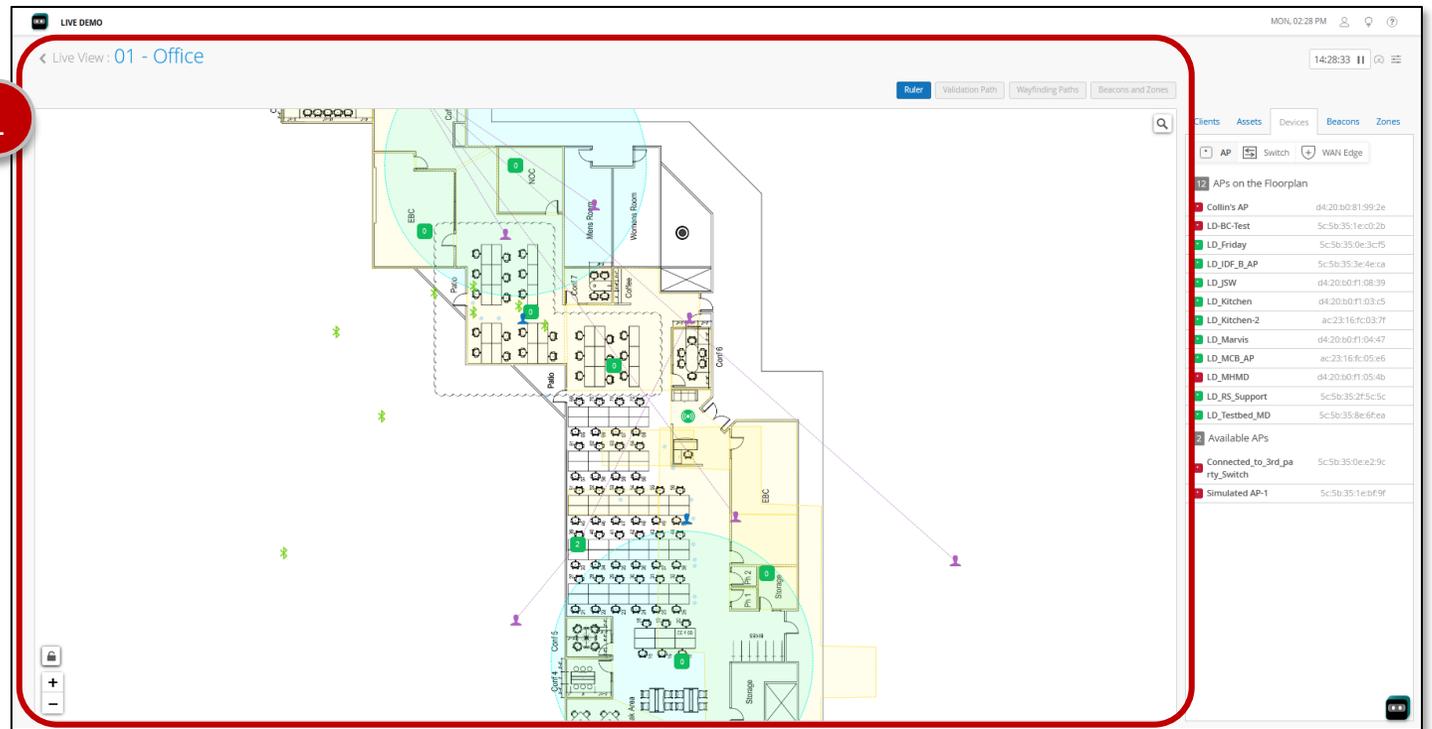


Live View [Location > Live View > 01-Office]

① 「Bluetooth で接続しているユーザ」、「Wi-Fi で接続しているユーザ」、「AP の設置位置」などを、事前に登録したマップ上にリアルタイムで表示させることができます



1

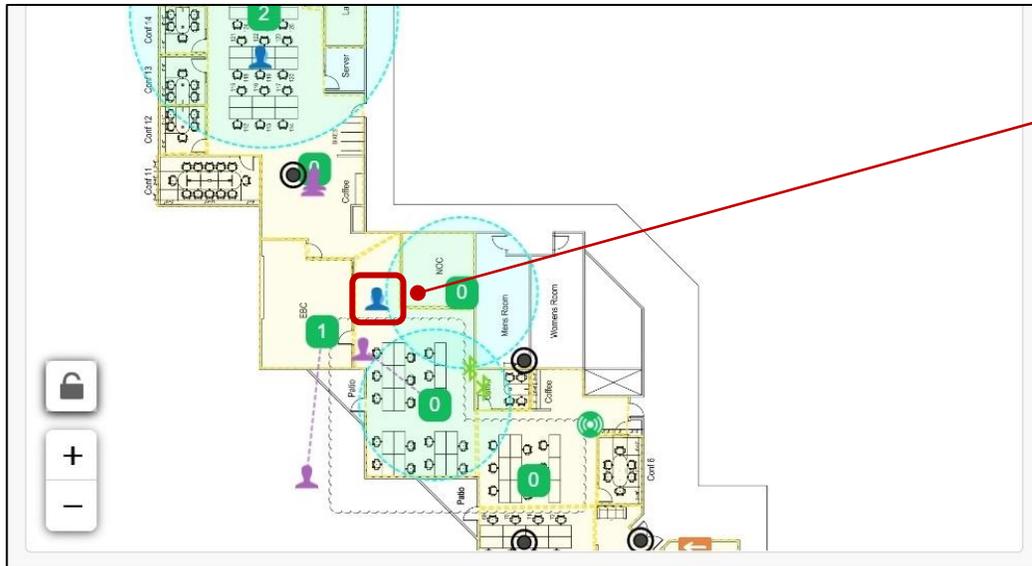


機能紹介

Location

Live View の確認 続き

Wi-Fi 接続であれば三点測位、BLE だと AP1 台で位置情報を取得可能
フロアマップ上に設定された原点と AP の位置、電波強度を元に x/y 座標を
割り出し、マップ上に表示することが可能です



Client Name	MAC Address
LAPTOP-SVQ6H1EB	b8:08:cf:b0:c3:86
mauna kea	b8:27:eb:c1:ef:bd
Mist-13s-Mini	50:32:37:e8:70:74
mont-blanc	b8:27:eb:b2:06:7b
r2d2	dc:a6:32:c7:e8:97

Selected App Client	
Name	John Doe
UUID	00000000-0000-0000-0000-44454d4f0003
Zones	CSQA
vBeacons	None
Last Seen	0m 10s
x, y (m)	18.4723, -25.4975
MAC Address	
Connection	
Signal Strength	

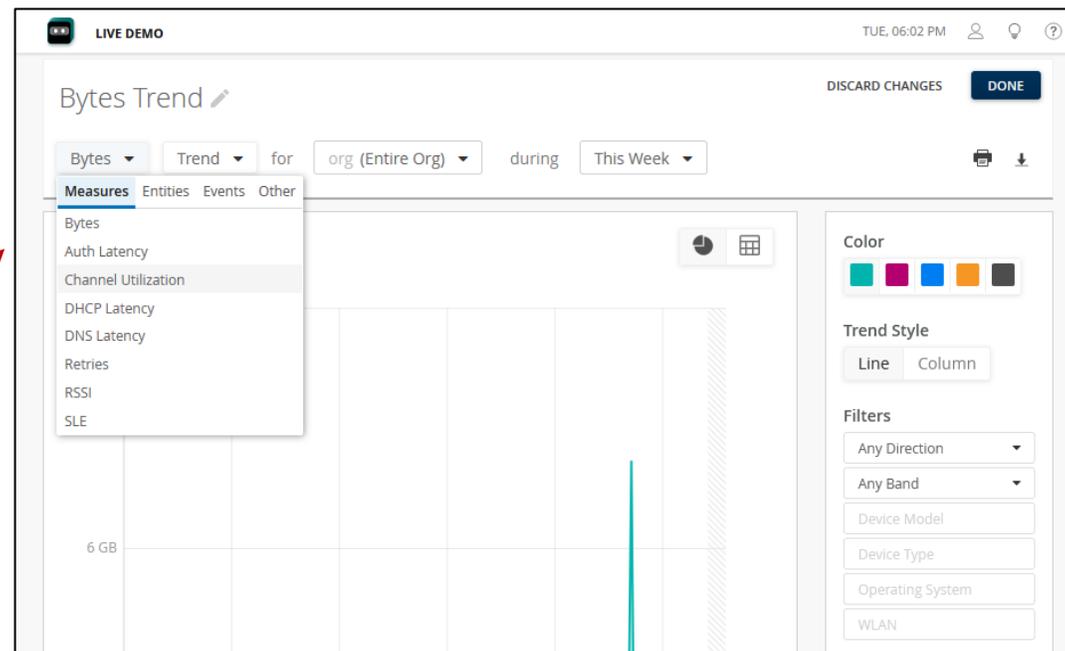
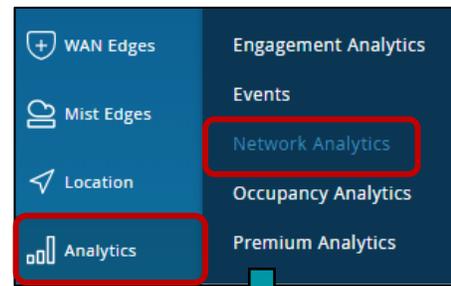
- :Mist SDK が組み込まれた App を使用しているクライアント
- :Mist SDK が組み込まれた App を使用しているクライアント (セルラー)
- :Wi-Fi クライアント
- :BLE デバイス (Bluetooth のイヤフォンなど)
- :BLE デバイスのうち Assets に登録したもの

機能紹介

Analytics

Network Analytics のカスタムダッシュボード

Network Analytics では複数のダッシュボードを組み合わせたカスタムダッシュボードを登録することが可能です
ダッシュボードの保存はできませんが、ウィジェットの追加や変更は可能です
画面右の+ボタンからどのような項目が表示可能かご確認ください

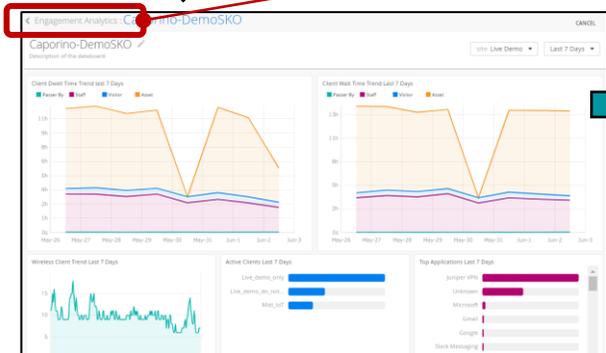
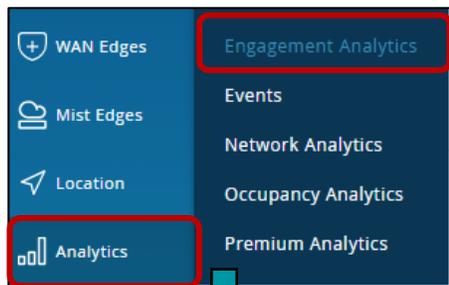


機能紹介

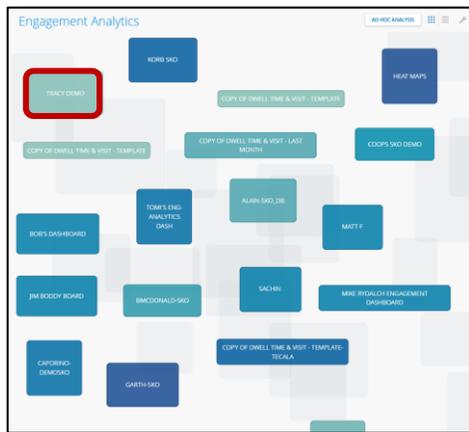


Engagement Analytics のカスタムダッシュボード

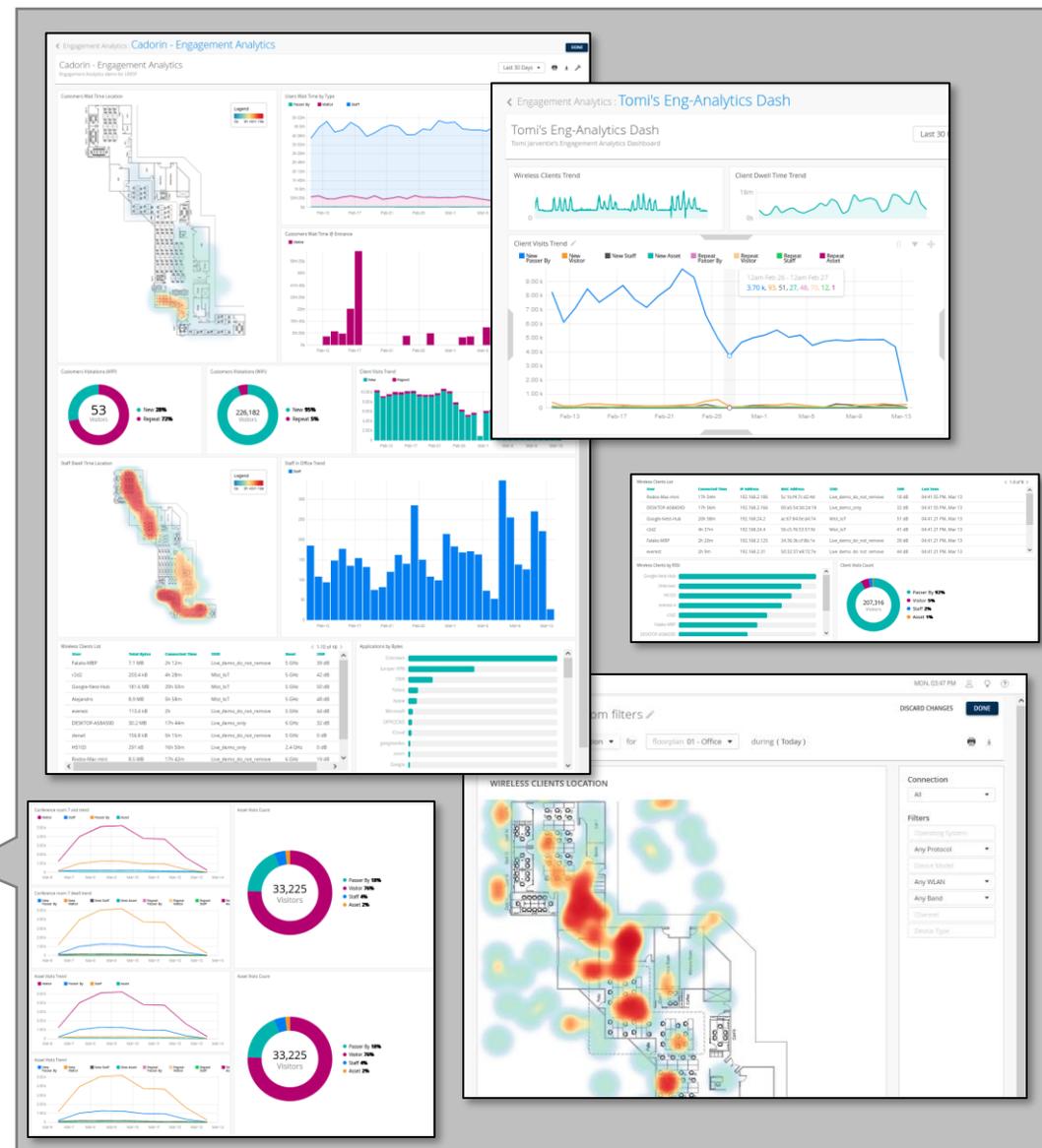
Engagement Analytics では複数のダッシュボードを組み合わせたカスタムダッシュボードを登録することが可能です
カスタムダッシュボードは用途に合わせて複数登録できます



※ デフォルトのダッシュボード



※ カスタムダッシュボード一覧



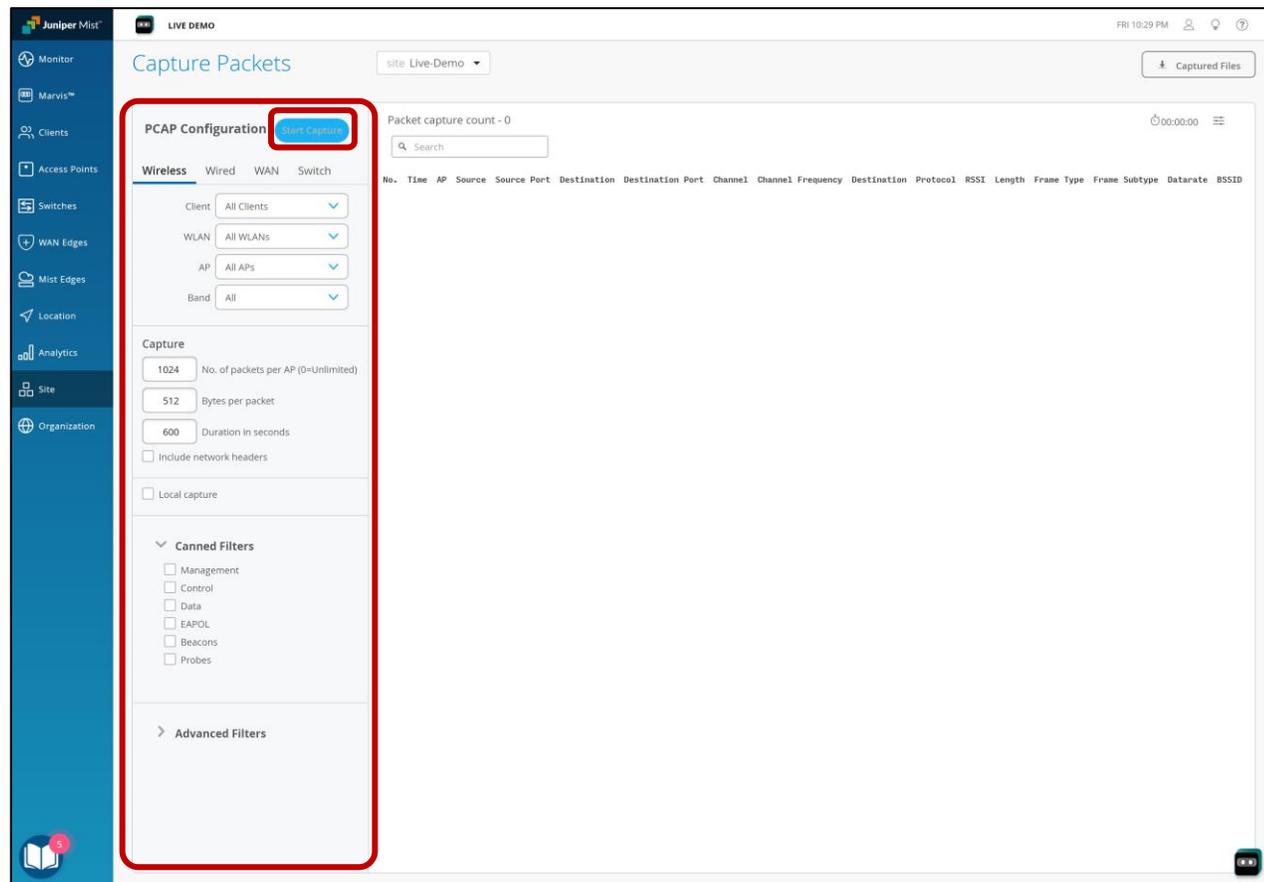
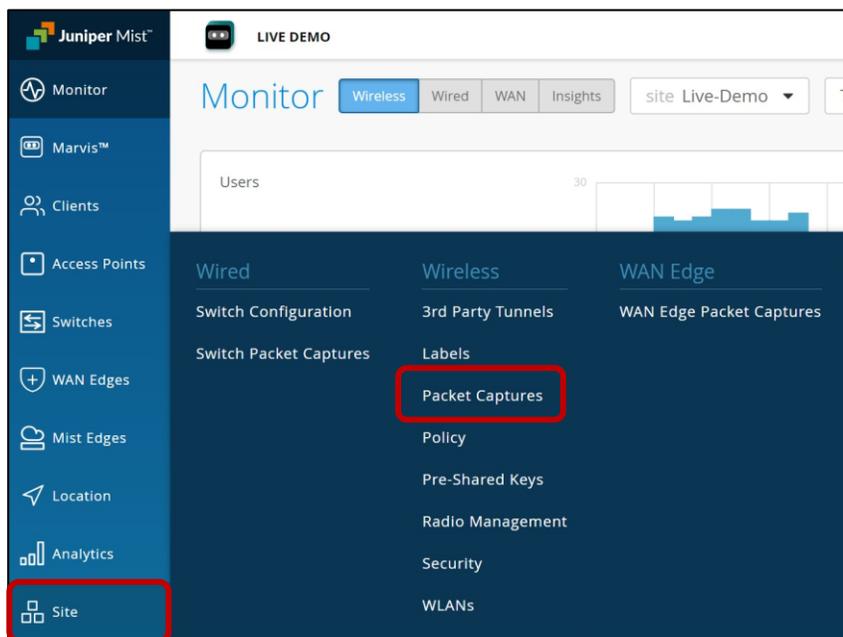
※ 運用に合わせて自由にカスタマイズ可能

機能紹介

Site

Packet Captures

Packet Captures では条件を指定して各デバイスの
パケットキャプチャが可能です
取得したキャプチャデータは.pcap としてダウンロードでき、
Wireshark などで表示できます



※Start Capture ボタンはLive Demoでは無効になっています



多言語化対応

AGENDA

Live Demo について

- アカウントの申請とログイン方法の紹介

機能紹介

- メインメニュー概要
- Monitor
- Marvis
- Switches
- WAN Edge
- Location
- Analytics
- Site

多言語化対応

- Mist GUI 日本語化

多言語化対応

Mist GUI 日本語化

Mist では GUI 日本語化を予定しています
Live Demo では先行して体感できます
Change Language(en) より日本語を選択します

The screenshot displays the Juniper Mist GUI interface. In the top right corner, there is a 'Change language (en)' dropdown menu. The menu is open, showing the following options: English, Español, 日本語 (highlighted with a red box), Français, and Deutsch. The main dashboard area shows a map of a location, a summary card with 'Access Points: 14', 'Associated Clients: 11', and 'Mbps: 0.47', and a line graph showing 'Total Bytes' and 'Data Rate' over time. Below the graph, there are sections for 'Site Events' (0 events) and 'Client Events' (7436 Total, 5125 Good, 1166 Neutral, 1145 Bad).

Thank you

JUNIPER
driven by Mist AI 